

2025年 8 月14日

上場会社名	株式会社ぼすとめいとホールディングス		上場取引所	東
コード番号	308A	URL	https://www.postmate-hd.jp/	
代表者	(役職名)	代表取締役社長	CEO	(氏名) 鈴木 淳
問合せ先責任者	(役職名)	取締役	CFO	(氏名) 栗原 福子
定時株主総会開催予定日	2025年9月30日		配当支払開始予定日	—
発行情報提出予定日	2025年9月30日			
決算補足説明資料作成の有無	無			
決算説明会開催の有無	無			

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期の連結業績（2024年7月1日～2025年6月30日）

(1) 連結經營成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	1,268	△4.5	49	14.9	55	△9.7	60	194.0
2024年6月期	1,327	83.8	43	—	61	—	20	—

(注) 包括利益	2025年6月期	60百万円 (194.1%)	2024年6月期	20百万円 (-%)
----------	----------	----------------	----------	------------

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	256.02	—	103.9	6.9	3.9
2024年6月期	102.01	—	73.6	2.6	3.3

(参考) 持分法投資損益	2025年6月期	一百万円	2024年6月期	一百万円
--------------	----------	------	----------	------

(注) 2024年6月期及び2025年6月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	790	88	11.2	374.36
2024年6月期	802	27	3.5	118.34

(参考) 自己資本	2025年6月期	88百万円	2024年6月期	27百万円
-----------	----------	-------	----------	-------

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	105	△16	△100	141
2024年6月期	101	△3	△15	153

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2025年6月期	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
2026年6月期（予想）	—	—	—		—	

(注) 2026年6月期の配当に關しては未定です。

3. 2026年6月期の連結業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は対前期増減率)

（注）数値は百万円未満を切り上げ、繰上りを切り下げたものである。									
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,298	2.4	29	△40.9	28	△48.9	25	△57.6	108.38

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 有 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 |

2025年6月期	236,568株	2024年6月期	236,568株
2025年6月期	一株	2024年6月期	一株
2025年6月期	236,568株	2024年6月期	201,952株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(表示方法の変更)	11
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復が見られましたが、原材料価格の高騰や天候の不順による物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、岡山市の放課後児童クラブに係る待機児童数が236名（令和6年5月1日時点）になっていることから、市では新たな整備及び運営の補助金を設けました。そのような取り組みを受けて、当社グループは、保育事業におきまして、放課後児童クラブ（民設、補助金あり）4施設を新設いたしました。

また、保育園の運営では、課題である園児の充足率を高める為、「ヘルプ手当」「異動手当」の新設と「育児・介護規定」の法改正にいち早く準拠し、社員が働きやすい環境を整備しました。この施策により、機動的な保育士配置が可能となり、収益向上の一助になりました。上記の結果、当連結会計年度（2024年7月1日～2025年6月30日）の売上高は1,268,483千円（前年同期比4.5%減）、営業利益は49,768千円（前年同期比14.9%増）、経常利益は55,352千円（前年同期比9.7%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は60,566千円（前年同期比194.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績については、以下のとおりです。

<保育事業>

当社グループの基幹事業である保育事業については、園児の充足率が前年同水準で推移しました。人件費をはじめ、きめ細かい経費コントロールにより売上高は1,117,586千円（前年同期比2.9%減）となり、セグメント利益（営業利益）は54,497千円（前年同期比4.3%増）となりました。

<ビルメンテナンス事業>

ビルメンテナンス事業については、主力であるハウスメーカーの外部清掃の受注がエリアにより苦戦し、売上高は150,261千円（前年同期比10.6%減）となり、セグメント損失（営業損失）は4,196千円（前年同期は15,512千円の営業損失）となりました。

<コンサルティング等事業>

コンサルティング等事業については、保活相談・情報提供コンサル等により、売上高は635千円（前年同期比93.0%減）となり、セグメント損失（営業損失）は6,864千円（前年同期は1,878千円の営業損失）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当連結会計年度末の資産は、前連結会計年度末に比べ11,856千円減少し、790,941千円となりました。流動資産は、前連結会計年度末に比べ16,970千円減少し、226,953千円となりました。これは主に現金及び預金が12,217千円減少したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ5,114千円増加し、563,988千円となりました。これは主に新規に開設した施設の固定資産取得により有形固定資産が9,781千円増加し、のれんの償却により無形固定資産が6,652千円減少したことによるものであります。

（負債の部）

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ72,422千円減少し、702,379千円となりました。流動負債は、前連結会計年度末に比べ26,563千円増加し、316,469千円となりました。これは主に短期借入金が6,000千円、未払法人税等が22,150千円増加した一方、買掛金が1,529千円、1年以内返済予定長期借入金が9,057千円減少したことなどによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ98,986千円減少し、385,910千円となりました。これは主に、長期借入金の返済により長期借入金残高が97,828千円減少したことによるものであります。

（純資産の部）

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ60,566千円増加し、88,562千円となりました。これは親会社株主に帰属する当期純利益が60,566千円であったことによるものです。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は141,658千円となりました（前連結会計年度末比12,217千円減）。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により、105,286千円の収入となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益87,806千円、減価償却費35,630千円、売上債権の減少額12,866千円、のれんの償却額6,125千円であり、支出の主な内訳は、補助金収入32,454千円、仕入債務の減少額1,529千円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により、16,618千円の支出となりました。収入の主な内訳は、補助金の受取額32,454千円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出44,020千円、敷金差入による支出10,192千円、保険積立金の積立による支出5,302千円等であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により、100,885千円の支出となりました。収入の内訳は、短期借入金の純増減額6,000千円であり、支出の内訳は、長期借入金の返済による支出106,885千円であります。

（4）今後の見通し

内外における、物価高騰・米国の関税問題の推移に、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、翌連結会計年度（2026年度6月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高1,298,944千円（前年同期比2.4%増）、営業利益29,393千円（前年同期比40.9%減）、経常利益28,244千円（前年同期比48.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益25,640千円（前年同期比57.6%減）を予想しております。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、会計基準につきましては日本基準を適用しております。国際財務報告基準（I F R S）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	153,876	141,658
売掛金	39,083	40,240
完成工事未収入金	17,367	3,343
未成工事支出金	2,803	—
原材料及び貯蔵品	2,881	1,880
その他	27,950	39,830
貸倒引当金	△37	—
流動資産合計	243,924	226,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	417,180	418,390
土地	47,359	47,359
その他（純額）	28,469	37,041
有形固定資産合計	493,009	502,791
無形固定資産		
ソフトウェア	3,737	3,211
のれん	14,803	8,677
無形固定資産合計	18,540	11,888
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,881	1,519
その他	44,441	47,788
投資その他の資産合計	47,323	49,307
固定資産合計	558,874	563,988
資産合計	802,798	790,941

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年6月30日)	当連結会計年度 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,453	11,923
短期借入金	-	6,000
1年以内返済予定長期借入金	101,363	92,306
未払法人税等	2,751	24,901
契約負債	23,699	26,171
未払金	86,422	86,866
賞与引当金	26,345	30,277
その他	35,870	38,022
流動負債合計	289,906	316,469
固定負債		
長期借入金	430,739	332,910
資産除去債務	48,879	50,219
その他	5,278	2,780
固定負債合計	484,896	385,910
負債合計	774,802	702,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,500	47,500
資本剰余金	75,296	75,296
利益剰余金	△94,800	△34,234
株主資本合計	27,995	88,562
純資産合計	27,995	88,562
負債純資産合計	802,798	790,941

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)	当連結会計年度 (自2024年7月1日 至2025年6月30日)
売上高	1,327,940	1,268,483
売上原価	818,066	761,526
売上総利益	509,874	506,956
販売費及び一般管理費	466,553	457,188
営業利益	43,320	49,768
営業外収益		
受取利息	130	81
助成金収入	18,013	7,365
その他	6,861	6,340
営業外収益合計	25,005	13,787
営業外費用		
支払利息	6,950	7,509
その他	68	693
営業外費用合計	7,018	8,202
経常利益	61,307	55,352
特別利益		
補助金収入	—	32,454
投資有価証券売却益	15	—
特別利益合計	15	32,454
特別損失		
固定資産除却損	137	0
減損損失	43,629	—
特別損失合計	43,766	0
税金等調整前当期純利益	17,556	87,806
法人税、住民税及び事業税	3,342	25,958
法人税等調整額	△6,387	1,281
法人税等合計	△3,045	27,240
当期純利益	20,601	60,566
親会社株主に帰属する当期純利益	20,601	60,566

（連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自2023年7月1日 至2024年6月30日）	当連結会計年度 （自2024年7月1日 至2025年6月30日）
当期純利益	20,601	60,566
包括利益	20,601	60,566
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	20,601	60,566

（3）連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	30,000	57,796	△115,402	△27,605	6	6	△27,599
当期変動額							
新株の発行	17,500	17,500		35,000			35,000
親会社株主に帰属する 当期純利益			20,601	20,601			20,601
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					△6	△6	△6
当期変動額合計	17,500	17,500	20,601	55,601	△6	△6	55,594
当期末残高	47,500	75,296	△94,800	27,995	—	—	27,995

当連結会計年度（自2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	株主資本				その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	47,500	75,296	△94,800	27,995	—	—	27,995
当期変動額							
新株の発行							
親会社株主に帰属する 当期純利益			60,566	60,566			60,566
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）							
当期変動額合計	—	—	60,566	60,566	—	—	60,566
当期末残高	47,500	75,296	△34,234	88,562	—	—	88,562

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自2023年7月1日 至2024年6月30日)	当連結会計年度 (自2024年7月1日 至2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	17,556	87,806
減価償却費	39,731	35,630
減損損失	43,629	—
のれん償却額	6,125	6,125
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,198	3,931
受取利息及び受取配当金	△130	△82
支払利息	6,950	7,509
補助金収入	—	△32,454
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,220	12,866
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,882	3,804
仕入債務の増減額 (△は減少)	178	△1,529
その他	2,580	△8,457
小計	114,717	115,152
利息及び配当金の受取額	130	82
利息の支払額	△6,677	△7,510
法人税等の支払額	△6,414	△2,437
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,756	105,286
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△217	△44,020
無形固定資産の取得による支出	△1,271	△432
投資有価証券の取得による支出	△20	—
投資有価証券の売却による収入	935	—
敷金差入による支出	△231	△10,192
敷金返還による収入	—	6,936
保険積立金の積立による支出	△2,668	△5,302
保険積立金の積立解約による収入	—	3,937
補助金の受取額	—	32,454
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,472	△16,618
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△70,000	6,000
長期借入れによる収入	130,000	—
長期借入金の返済による支出	△110,187	△106,885
株式の発行による収入	35,000	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,187	△100,885
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	83,096	△12,217
現金及び現金同等物の期首残高	70,779	153,876
現金及び現金同等物の期末残高	153,876	141,658

（５）連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記）
該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

（表示方法の変更）

（連結貸借対照表）

前連結会計年度において、流動負債の「その他」に含めて表示しておりました「未払金」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」の「その他」に表示していた122,292千円は、「未払金」86,422千円、「その他」35,870千円として組み替えております。

（連結損益計算書）

前連結会計年度において、「営業外収益」の「雑収入」に含めていた従業員負担分の給食代については、費用負担の実態を明確にし、損益区分をより適切に表示するために、当連結会計年度より「売上原価」から控除する方法へ変更しております。

この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、売上総利益及び営業利益が12,593千円増加しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループはサービス別に事業部を置き、事業部ごとに取り扱うサービスについて事業活動を行っております。当社グループは、事業部を基礎としたセグメントによって構成されており、「保育事業」「ビルメンテナンス事業」「コンサルティング等事業」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の資産の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一となっております。報告セグメントの利益は、営業利益ベースでの数値です。セグメント間の内部売上高及び振替高は市場実勢価格に基づいております

前連結会計年度（自 2023年7月1日 至 2024年6月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額 (注) 2	合計
	保育事業	ビルメンテ ナンス事業	コンサルティ ング等事業			
売上高						
顧客の契約から 生じる収益	1,150,912	168,015	9,013	1,327,940	—	1,327,940
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,150,912	168,015	9,013	1,327,940	—	1,327,940
セグメント間の内部売 上高	20,400	7,148	19,800	47,348	△47,348	—
計	1,171,312	175,163	28,813	1,375,288	△47,348	1,327,940
セグメント利益又は損失 (△)	52,238	△15,512	△1,878	34,846	8,473	43,320
セグメント資産	714,588	69,966	55,257	839,812	△37,014	802,798
その他の項目						
減価償却費	35,136	1,931	2,577	39,645	85	39,731
のれん償却額	—	2,686	3,439	6,125	—	6,125
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	1,488	—	—	1,488	—	1,488

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去及び全社費用の金額が含まれております。

全社費用は主に販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び全社資産の金額3,385千円が含まれております。全社資産は、主に、(株)ぽすとめいとホールディングスの資産であります。

3. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

当連結会計年度（自 2024年7月1日 至 2025年6月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント			計	調整額 (注) 2	合計
	保育事業	ビルメンテナ ンス事業	コンサルティ ング等事業			
売上高						
顧客の契約から 生じる収益	1,117,586	150,261	635	1,268,483	—	1,268,483
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,117,586	150,261	635	1,268,483	—	1,268,483
セグメント間の内部売 上高	25,653	7,978	29,826	63,458	△63,458	—
計	1,143,240	158,240	30,461	1,331,941	△63,458	1,268,483
セグメント利益又は損失 (△)	54,497	△4,196	△6,864	43,436	6,331	49,768
セグメント資産	717,403	57,537	51,646	826,587	△35,645	790,941
その他の項目	—	—	—	—	—	—
減価償却費	31,967	1,001	2,567	35,537	93	35,630
のれん償却額	—	2,686	3,439	6,125	—	6,125
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	44,020	—	—	44,020	432	44,452

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額には、セグメント間取引消去及び全社費用の金額が含まれております。
全社費用は主に販売費及び一般管理費であります。
2. セグメント資産の調整額は、セグメント間取引消去及び全社資産の金額15,274千円が含まれております。
全社資産は、主に、(株)ぽすとめいとホールディングスの資産であります。
3. セグメント利益の合計額は、連結財務諸表の営業利益と一致しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
1株当たり純資産額	118円34銭	374円36銭
1株当たり当期純利益	102円 1銭	256円 2銭

（注） 1． 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2． 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当連結会計年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
当期純利益（千円）	20,601	60,566
親会社株主に帰属しない金額（千円）	－	－
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円)	20,601	60,566
期中平均株式数（株）	201,952	236,568
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含め なかった潜在株式の概要	－	－

（重要な後発事象）

該当事項はありません。